

## 平成 30 年第 11 回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成 30 年 11 月 21 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 26 分

○場 所 三浦市役所第 2 分館 教育委員室

### ○次 第

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 署名委員の指名  
下里 矩生 委員、越智 康一 委員
- 4 教育長報告
  - (1)平成 30 年 11 月の行事等について
  - (2)平成 30 年第 4 回三浦市議会定例会について
- 5 報告事項
  - (1)平成 30 年 10 月の後援名義等使用について
  - (2)平成 29 年度児童・生徒の問題行動等調査結果について
- 6 審議事項
  - (1)議案第 26 号 平成 30 年度三浦市一般会計補正予算（第 3 号）に関する申出について
- 7 その他の事業について
  - (1)第 24 回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催結果について
  - (2)第 54 回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催結果について
  - (3)平成 30 年度（第 14 回）うどん祭りの開催結果について
  - (4)平成 31 年三浦市成人の日のつどいの開催について
  - (5)みうらっ子ライブラリー ふわり。おはなし旅の開催結果について
  - (6)三浦市社会教育講座「料理講座」おもてなし料理の開催について
- 8 その他
- 9 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	下 里 矩 生
委 員	玉 井 恵 理
委 員	廣 瀬 牧 実
委 員	越 智 康 一

○説明のために出席した職員

教育部長兼青少年教育課長兼図書館長	君 島 篤	教育総務課長	増 井 直 樹
学校教育課長	高 梨 真 一	学校給食課長	松 下 彰 夫
文化スポーツ課長	塚 本 孝 治	南下浦市民センター館長	松 井 住 人
初声市民センター館長	見 上 正 行	青少年教育課主査	ソリバン 薫

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	長 島 正 紀
-------------------	---------

○傍 聴（1名）

○及川教育長　　こんにちは。ただいまより平成 30 年第 11 回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言等なし)

○及川教育長　　なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成 30 年第 10 回三浦市教育委員会定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長　　ご異議ないようですので、前回会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に下里職務代理と越智委員を指名いたします。

よろしくをお願いいたします。

○及川教育長　　それでは、次第 4 「教育長報告」として、私の方から報告をさせていただきます。

まずは、先日 14 日になりますけれども、教育委員会・校長会合同歓送迎会を、今回については拡張版ということで開催させていただきました。ご出席をいただきまして、ありがとうございました。

前後いたしますが、11 月 6 日（火）に、第 7 回海洋教育写真コンテストの表彰式が、潮風アリーナで行われました。この写真コンテストにつきましては平成 24 年度から続いているものですが、今年度についても「海の生き物部門」として「海の風景とくらし部門」の 2 部門について表彰が行われました。応募の総数は 906 点、これは市内の小中学生の 3 人に 1 人が応募している、そういう数でありました。今年は特に小学生が増えたという報告も聞いております。

入賞の作品につきましては、ホームページの、教育委員会の中にある海洋教育のページに掲載される予定であります。まだ掲載はされていないんですけれども、予定としては、12 月 3 日からホームページに掲載ということです。また、入賞の作品につきましては、この間の日曜日、18 日に市民まつりが行われましたけれども、その時に展示されました。今後につきましては、創造展が 24 日（土）、25 日（日）に初声市民センターで行われますけれども、そこでの展示も予定されております。お時間のあるところでぜひご覧いただければと思います。

また、11日(日)でしたけれども、城ヶ島駅伝競走大会が開催されました。参加チームは総数で142チーム、うち小学生・中学生のチームが102チームということでありました。今年はコースの一部変更などもありましたけれども、天気にも恵まれて、多くの応援者といえますか、沿道での応援があったということです。詳しくは担当課より報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、15日からは学校訪問ということで学校に伺っています。第1日目としましては、三崎中学校、上宮田小学校、南下浦小学校、南下浦中学校へ行き、昼食は南下浦学校給食共同調理場で給食をいただきました。

今後ですけれども、明日22日(木)そして来週の26日(月)、28日(水)と続きますので、よろしくお願いいたします。

11月につきましては、27日に市議会の招集告示ということでありまして、12月に入って4日(火)から本会議が始まり、14日まで続くということでもありますので、ご承知おきいただければと思います。

あと10日ほどで12月、師走ということで、年末の足音が聞こえてきたという時期になっています。何かと慌ただしい時期でもありますけれども、予算編成など大切な時期でもありますので、しっかりと先を見ながら、見通しを持ちながら取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

以上で報告を終わります。

○及川教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いします。

○及川教育長 ございませつか。なければ教育長報告を終わります。

それでは、次第5「報告事項」に入ります。

(1)平成30年10月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○増井教育総務課長 平成30年10月の後援名義等の使用についてご報告いたします。

議案・資料1ページ、資料1をご覧ください。

平成30年10月に資料記載の学校教育課関係1件、文化スポーツ課関係7件、計8件の申請について、承認をいたしました。内容等についてご質問・ご不明な点がございましたら、担当課よりご説明いたします。

○及川教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○下里職務代理 2点ほどあります。

まずは2番目の、シーサイド少年少女合唱団クリスマスジョイントコンサートとありますけれども、団体名はシーサイド少年少女合唱団となっていますが、代表者名が分かりましたら教えていただきたい、これが1点です。

2点目は、8番目の朝本千可チャリティーコンサートについて、実行委員会とありますが、これも代表者がどなたか、分かたら教えていただきたいということと、去年も同じようなコンサートをされたと思うんですが、その時に、チャリティーと名を打って、三崎中学校に何が

しかの寄贈があったと思うのですけれども、その額についても詳しく分かりましたら教えていただきたいと思います。

○塚本文化スポーツ課長　まず、2番のシーサイド少年少女合唱団についてですけれども、代表者は和田　智子さんとなっております。

○下里職務代理　事業内容に書いてある方の関係者でしょうか。

○塚本文化スポーツ課長　はい。

○下里職務代理　分かりました。

○塚本文化スポーツ課長　続いて、8番ですが、代表者は朝本さんではございません。実行委員会の代表者は辻　克仁さんという方です。

大変申し訳ありませんが、今年の寄贈についてはお答えできるものがございません。

○下里職務代理　私は、それがどうこうということではなくて、チャリティーという名前を使っていますから、やはりその辺りはきっちりしておかなくてはいけないんじゃないかなと思ひまして、質問させていただきました。

○増井教育総務課長　朝本千可さんについて、第2弾ということで、前回も同じようにチャリティーコンサートを催していただきまして、大まかなお答えになりますけれども、確か10万某かいただきました。それを中学校の吹奏楽のためにということでしたもので、3中学校の吹奏楽の代表の方にお話し合いいただきまして、前回の第1弾の時には、三崎中の子どもたちが一緒に演奏したりですとか、大変協力をしたものですから、その全額については三崎中の吹奏楽のために使うということで受領したということでございます。

○下里職務代理　分かりました。

この質問をさせていただいた意図はもう一つございまして、今、こういう時代で、楽器も、横須賀、逗子、葉山などに行くと、結構素晴らしい楽器を使われているんですね。そうすると、楽器の値段がごく普通とか、普通よりちょっといいのかなという楽器でも、30万前後するんですね。その中で、チャリティーと名を打って、15万円いただいて、果たしてそれでどうなるのかなという考えもあったものですから、質問させていただきました。

○及川教育長　使い方については何かありますか。

○増井教育総務課長　その後どう使ったかという話はこちらでは掴んでおりませんが、その時の朝本さんのお話の中では、楽器の修理ですとか、もしくは、子どもたちが他の所に行って演奏する時の旅費の足しにするとか、そういったものにお使いいただければという話をいただいております。

確かに楽器が高価ですので、できれば新しい楽器を、という話もチャリティーコンサートを開いた時にはお考えいただいていたようですけれども、なかなか、うらりの規模でコンサートを実施した時に、それほど多くの収益が見込めなかったというところで、前回いただいた金額になったと聞いております。

○下里職務代理 分かりました。ありがとうございました。

○及川教育長 他によろしいですか。

○廣瀬委員 よろしいですか。

6番のケロポンズのですけれども、最初の募集だと、入場料が2,500円くらいと、結構な金額がついていたのが、その後もう一度チラシが来て、無料になったということになったんですけれども、そのあたりの経緯が分かれば教えてください。

○塚本文化スポーツ課長 おっしゃるとおり、大人が2,800円、子どもが1,000円、親子ペアだと3,500円というところで始まったんですけれども、経緯については把握しておりません。

○廣瀬委員 分かりました。

○及川教育長 他によろしいですか。

続きまして、(2)平成29年度児童・生徒の問題行動等調査結果について、報告をお願いします。

○高梨学校教育課長 平成29年度児童・生徒の問題行動等調査結果についてご報告いたします。

議案・資料2ページ、資料2をご覧ください。

まず、1 暴力行為についてです。

県内の小学校の暴力行為が3年連続で顕著な増加傾向にあります。要因として、児童間の軽微なけんかも「暴力行為」とみなして計上していることや、児童全体にコミュニケーションスキルや自分の感情をコントロールするスキルが身につけていない傾向が強まっていること等が考えられます。

三浦市における加害児童数は、低学年、特に1年生において顕著な増加傾向がうかがえます。

一方、県内の中学校においては、平成20年度をピークに減少の傾向が続いています。

市内においては対教師暴力、生徒間暴力、器物損壊すべての項目で減少しています。教師と生徒の間、及び、生徒間の信頼を高める指導を通して未然防止に取り組むとともに、学校のチーム体制による指導および学校と警察の連携制度の活用が効果を発揮しているものと考えます。

続きまして、2 いじめについてです。

昨年度に引き続き、いじめ認知件数は急増しています。これは、いじめの定義が広く認知されるようになり、学校が積極的に「いじめられたとする児童の立場」に立って、発見・対応した件数であり、早期発見・早期対応が定着してきたことを示していると考えます。

三浦市のいじめ解消率は、69.0%と県78.5%に比べると、やや低い傾向がうかがえますが、「解消に向けて取組中」を含めると96.6%であり、安易にいじめが解消したと捉えず、学校が粘り

強く指導している様子が伺えます。

学校いじめ防止基本方針をもとに、「いじめは、どの学校にもおこりうるもの」という考えに立ち、今後とも未然防止のための認め合える学級づくり、いじめアンケートや教育相談の実施による早期の把握、早期対応等に努めることが重要であると考えます。

続いて、3 長期欠席と不登校についてです。

小学校における長期欠席者の出現率が、県より高い状態が続いています。これは、保護者の考え方が多様となり、学校だけでなく、様々な学習の機会を受け入れる傾向がみられるためと考えられます。

一方、中学校における長期欠席者の出現率は、平成 28 年度に比べてやや減少しております。

学校と相談指導教室・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等との連携を強め、家から外に出る機会をつくるのがきっかけとなって、学校に登校できるようになる生徒も出ております。

しかしながら、長期欠席者合計に占める不登校児童生徒の割合（不登校割合）は、小学校では減少したものの、中学校では大幅に増加しております。

長期欠席の理由を、積極的に不登校と認知したうえで、早期に関係機関と連携して指導に当たることによって改善につなげようとして取り組んでいるためと思われま。

月 7 日欠席の児童・生徒だけでなく、3 日連続で欠席した児童・生徒に対し、「チームで支援する」という意識をもつことが長期欠席者の出現率を下げていくためには必要と考えます。

今後も引き続き、新たな長期欠席者及び不登校を生まないように、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の関係機関と連携しながら「未然防止」「早期発見・早期対応」の取組を、学校体制として進めていきます。

最後になりますが、日頃から児童・生徒の観察、教育相談活動やアンケートによる実態の把握、そして「生徒指導提要」を参考としながら、教科授業、学級活動、道徳授業の充実、いじめ防止教室の実施等、落ち着いた生活を送ることができる学級風土・学校風土の醸成や環境の整備について学校全体で組織的に取り組んでいきます。

以上で報告を終わります。

○及川教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○玉井委員 小学校の暴力行為についてお聞きしたいんですけども、暴力の件数の把握というのは、先生なり保護者が学校に報告して、それを教育委員会に上げた件数がこの数字ということでしょうか。

○高梨学校教育課長 基本的には、学校で把握した件数が上がってきます。以前でしたら、これは戯れだと捉えていたものも、細かい目で見えて上がってきていることで、件数が増えています。

○玉井委員 ありがとうございます。

○及川教育長 他によろしいですか。

○越智委員 よろしいですか。

3 ページの、下から4つ目の項目の所に、「保護者の考え方が多様となり、様々な学習の機会を受け入れる傾向がみられる。」とありますが、これで、長期欠席者の出現率が、県より高い状態が続いているということへの因果関係になるのかということと、保護者の考え方が多様になることで、どのような学習の機会を受け入れることになるのでしょうか。

○高梨学校教育課長 特に小学校で見られるんですけども、無理に学校に行かせなくても、例えばフリースクール関係や、施設などで学習ができれば良いという考え方を持つ保護者が増えてきていると、現場からの感想が上がってきています。そういう考え方の保護者が増えてくると、何としても学校に行かせようという数が減ってきますので、多少、長期欠席者の出現率が県より高くなっているのではないかという分析になります。

○越智委員 ということは、三浦市の保護者だけがそういう傾向があって、他の市町村ではそういう傾向があまりないということになりますが、三浦市の保護者だけがそういう傾向なのかという疑問がありますので、もう少し分析をしていただけたらというのが1点と、それから、もしそういうことがあるなら、やはり保護者とか、そういうところにも働きかけをしない限り、県より高い状況は解消できないことになります。

県より高いということより、そういう状況により長期の欠席をする児童さんを少なくしていかないと、解消は難しいという気持ちです。

○高梨学校教育課長 ご指摘ありがとうございます。

引き続き分析については慎重に行っていきたいと思います。併せて、今お話をいただいたように、こちらとしても、多様化が進んでいるから学校に来なくていい、ではなくて、学校という集団活動の中で育つ力というのはとても重要だと思いますので、こちらからも働きかけをしていきたいと思います。

○越智委員 あるかないかで結構なんですけれども、学校教育課で把握している範囲で、傾向として、例えば特定の学校だとか、特定の学年、クラスとか、あるいは特定の部活動だとか、特定のところに偏りがあるのかなのか、それともあまり偏りはないのか、そんなところを教えていただけたらと思います。

○高梨学校教育課長 受けている報告では、特に特定の偏りはないと聞いています。

○越智委員 最後にもう一つ。

現在各学校等で苦勞されているとか、お困りになっているとか、特に深刻な問題というのは、特に把握されていませんか。深刻の度合いもありますけれども。

○高梨学校教育課長 確かに深刻の度合いですとか、あるいは受け入れ方にもあると思うんですけども、基本的に不登校に関しては、いくつかは家庭的な問題等も含めて課題に挙がって



いる家庭はあります。そういうものは報告を受けていますし、こちらも把握して、働きかけを続けている状況ではあります。

暴力関係に関しては、今のところ報告は特にない状態です。

○越智委員 では、1点要望だけ。

よく、色々な不幸な、自殺だとか、そういう時にですね、いじめはなかったとか、認定されないということで、結構マスコミの話題になっていますけれども、その時にいつも出てくるのは、大津の事件をきっかけにして、教育委員会の役割だとか、そういうものがいつも問われて、制度も変わってきたと思います。

もし、何かあれば、お役に立てることがあればという気持ちはいつも持っていますので、何を余計などと言われるかもしれませんが、ぜひ、何かあればお役に立てればと思っていますので、よろしくお願いします。以上です。

○及川教育長 ありがとうございます。

学校の状況等をきちんと把握していただきながら、その関係性の分析等もよろしくお願いしますと思います。

○及川教育長 その他よろしいでしょうか。

それでは、次第6「審議事項」に入ります。

(1)議案第26号「平成30年度三浦市一般会計補正予算（第3号）に関する申出について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

○増井教育総務課長 平成30年度三浦市一般会計補正予算（第3号）に関する申出についてご説明します。

本日配布しました資料3をご覧ください。

本案件は、平成30年度三浦市一般会計補正予算（第3号）につき、資料記載のとおり申出をすることについて承認を求めるものです。

補正の内容ですが、歳入予算のうち国庫支出金について、補正前の予算額595万1千円から、9千186万6千円を増額するもの、諸収入について、補正前の予算額0円から、57万円を増額するもの、市債について、補正前の予算額7千480万円から、1億8千340万円を増額するもの、歳出予算のうち、教育費の補正前の予算額、7億9千278万円に、2億6千820万円を増額し、補正後の予算額を、10億6千98万円にするもの、災害復旧費の補正前の予算額、1千円に、133万7千円を増額し、補正後の予算額を、133万8千円にするものです。

担当課は教育総務課が3事業、学校教育課が1事業となっております。

補正事業の内容ですが、小学校費のうち、小学校施設整備事業について、小学校の普通教室にエアコンを設置する費用を増額するもの、中学校費のうち、中学校施設整備事業について、中学校の普通教室等にエアコンを設置する費用を増額するもの、以上2事業は国庫補助金を利用し、市債を使うこととなりますので、歳入予算の国庫支出金と市債の増はこちらの事業に充当するためということでございます。国の特例交付金を利用して行うものでございますので、

中学校は特別教室も今のところは設置する予定ですが、補助金の採択を受けられるかが少し微妙なところもございますので、その関係によりましては普通教室だけの設置になる可能性も十分にあるということをご理解いただけたらと思います。

続きまして、中学校心身障害児教育充実事業については、支給対象者が当初の見込みより多数であったために就学扶助費を増額するものでございます。また、災害復旧費のうち、公立学校施設災害復旧事業については、剣崎小、南下浦小、三崎中の渡り廊下の屋根が破損していますので、そちらの修繕費を増額するものです。

歳入予算の諸収入の増額は、保険を掛けている物件がございますので、その保険金が入ることによって、収入に見込んであるというものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議をお願いいたします。

○及川教育長 説明は終わりました。

ご質問等がございましたらお願いいたします。

○及川教育長 よろしいですか。

なければお諮りいたします。

議案第 26 号「平成 30 年度三浦市一般会計補正予算（第 3 号）に関する申出について」、原案のとおりとすることについて、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○及川教育長 ありがとうございます。

ご異議ないようですので、そのように決しました。

○及川教育長 それでは、次第 7 「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)第 24 回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催結果について、説明をお願いします。

○塚本文化スポーツ課長 第 24 回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催結果について、ご報告をいたします。

議案・資料 5 ページ、資料 4 をご覧ください。

今年度の城ヶ島駅伝競走大会は、11 月 11 日（日）に開催いたしました。大会当日は教育委員の皆様にもご来場頂くとともに、温かいご声援をお送り頂きましてありがとうございました。

本大会は 9,119 メートルを 5 人でタスキリレーする大会ですが、1 人 2 キロメートル程度で、小学生にも比較的参加しやすい大会であり、大変多くの参加がございました。今年の大会へは 142 チームが出場し、142 チーム全て完走する、素晴らしい大会となりました。

今年度の大会は、コースの変更がございましたので、記録的には各カテゴリー大会新記録となっております。晴天に恵まれ、ランナーにとっては気温が高い状況もありましたが、大きな怪我や事故もなく大会が終了したことを御報告させていただきます。

資料につきましては、参加チーム数の状況、カテゴリーごとの順位、タイムなどを記載しております。

以上で報告を終わります。

○及川教育長 説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○玉井委員 感想ということで、私も英語の授業で入っている学校の生徒たちが本当にたくさん出ていて、先生も出ないと言われるくらい、すごく身近な駅伝で、市民スポーツ大会で色々な反省が出ている中ですけれども、やはり三浦の子は走るのが好きというか、運動が好きなんだなと思いました。子どもだけでなく、大人もたくさん出ていますので、スポーツに対する三浦市民の思い入れと言いますか、そういうものをすごく感じましたので、ますます盛会になっていけばいいなと感じました。以上です。

○及川教育長 ありがとうございます。

○及川教育長 その他よろしいですか。

続きまして、(2)第 54 回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催結果について、(3)平成 30 年度（第 14 回）うどん祭りの開催結果について、及び(4)平成 31 年三浦市成人の日のつどいの開催について、以上は青少年教育課の事業ですので一括で説明をお願いします。

○ソリバン青少年教育課主査 第 54 回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催結果についてご説明します。

議案・資料 7 ページ、資料 5 をご覧ください。

この講演会は、青少年の健全育成に関して、市民の皆さんと共に考える場とし、三浦市青少年問題協議会と三浦市が主催し、神奈川県横須賀三浦地域県政総合センターの共催により 10 月 16 日（火）18 時から南下浦市民センター講堂で開催しました。

今回は、講師に NPO 法人ジェントルハートプロジェクトの理事 小森美登里（こもり みどり）氏を招き、「いじめに対する大人の認識を考える」ための内容で、「いじめを未然に防ぐためには、学校だけでなく家庭、地域が連携し、子ども達を見守っていく必要があることについて」講演いただきました。

当日の参加者は 77 名で、前年度よりも多くの方に参加をいただき今回のテーマに対する関心の高さが伺えました。

参加者をお願いしたアンケートでは、講演内容への満足度では、「満足した」が約 9 割、子育てや活動の参考になったかの問いにも「参考になった」が約 9 割に達し、今回の講演会がいじめについて理解を深める有意義な催しになったと考えています。

次に、平成 30 年度（第 14 回）うどん祭りの開催結果についてご説明します。

議案・資料 8 ページ、資料 6 をご覧ください。

この催しは、平成 30 年 11 月 3 日（祝・土）和田長浜にございます三浦 YMC A グローバルエコビレッジ・ヒルサイド野外炊事場で行いました。

当日の参加者は、公募した市内小中学生とその保護者 26 人、そのほかに青少年指導員 14 人、ジュニアリーダー 4 人、青少年教育課職員 2 人によるスタッフ 20 人を加えた、計 46 人でした。

当日は時折雨がぱらつく天候でありましたが、幸い本降りになる事はなく、野外調理による手打ちうどんとおにぎり作り、食後のレクリエーションゲーム等、予定のプログラムを滞りなく行うことができました。

会場で参加者をお願いしたアンケートでは、「満足した」という回答が88%に達し、参加者のほとんどがこの催しを楽しみ満足していただけた、という結果になりました。

また、うどん祭りへの今までの参加回数では、初参加の方々が9割以上という結果になりました。この中には青少年教育課が実施する催しへの参加自体が初めてという方も多く見受けられましたので、今後はこの機会を子どもの船や姉妹都市交流等、青少年教育課の他の催しのPRの場にする等、活かしていきたいと考えています。

最後に、平成31年三浦市成人の日のつどいの開催についてご説明します。

議案・資料9ページ、資料7をご覧ください。

平成31年成人の日のつどいは、新成人の門出を祝い、成人としての意識と三浦市への郷土愛を高めることを目的に、平成31年1月14日(祝・月)成人の日に、うらり2階にございます「三浦市民ホール」にて開催いたします。

式典は、午前10時30分に始まり約50分を予定しております。

主催は、三浦市、三浦市教育委員会、そして「成人の日のつどい運営委員会」となります。

成人の日のつどい運営委員会は、新成人2名、昨年の運営委員3名の5名構成であり、当日に向けて準備を進めているところです。

成人の日のつどい運営委員会にて決定した、今回のサブタイトルは、「#20-FLY- (ハッシュタグ トゥエンティフライ)」です。

「20才の出発」をイメージした言葉に、昨年に引き続き設置される「フォトスポット」そして「twitterによる情報配信」を意識し「ハッシュタグ」を付けたものです。

今回対象の新成人は平成10年4月2日から平成11年4月1日までに誕生した者で、11月1日現在の住民登録では379人であり、前年に比べ64人少なくなっています。

式典は、資料にありますとおり、運営委員長の開会のことばから始まり、以下、国歌・市歌斉唱へと順次進み、新成人の運営委員企画では、20年を思い出すヒントになるよう当時のヒット曲の映像上映を予定しています。

式典の周知については、広報誌三浦市民、三浦市ホームページで周知するほか、対象の新成人には11月28日に案内が記載された「入場ハガキ」を送付する予定です。

また、教育委員の皆様への案内状については、12月に入りましたらお渡しいたしますので、しばらくお待ちくださるようお願いいたします。

以上で説明を終わります。

○及川教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○下里職務代理 質問ではないんですけども、青少年問題協議会の件ですが、今は統廃合で無くなりました、野庭高等学校というところがあったんですけども、その吹奏楽部でトロンボーンを吹いていた子が小森さんなんですね。何回か声は聞いたことがあるんですが、やはり親御さんの気持ちということで、講演を伺って、本当に深い深い子どもに対する愛情という

ものを感じました。こういう講演会ですので、もし保護者や、PTAで機会があったら、いっぱい聞いていただいた方がいいんじゃないかなと感じました。

○及川教育長 ありがとうございます。

○廣瀬委員 すみません。今の先生のご意見に引き続きなんですけれども、私も参加させていただいて、内容を聞いて、本当に今子育てをしている保護者の人が聞いたらいいなと思いました。

あと、私が講演の後に、講演の講師をしていた小森さんはどんな活動をしているのかなと、ちょっと自分で調べたんですね。調べた時に、そこでは野庭高校のことは言っていなかったんですけども、そこに、お子さんがどういう風に亡くなったかということも、書いてあったんですけども、それを見て本当にぞっとしました。まず、3人、いじめていたとされる加害者がいたんですけども、まず3人の実名がしっかり載っていたということと、亡くなったのは20年前ですけども、そこへの書き込みが結構されている中で、今現在、その3人の中の1人を知っていて、今は結婚して相模原の何区に住んでいるということまで書かれているのを見た時に、20年経っても、今度は加害者の人がいじめを受けているような状況になっていて、20年経っても何も消えていかないし、加害者の人もずっと引きずっていくようなことになったというのは、基本となる「いじめ」ということを考えていかないといけないし、SNSって本当に怖いなという風にぞっとしました。いじめに関係してくると思うので、その辺りの取り組みもしっかり考えていかななくてはいけないなという意見を持ちました。

○及川教育長 ありがとうございます。

○及川教育長 その他よろしいですか。

続きまして、(5)みうらっ子ライブラリー ふわり。おはなし旅の開催結果について、説明をお願いします。

○君島教育部長兼青少年教育課長兼図書館長 みうらっ子ライブラリー ふわり。おはなし旅の開催結果についてご報告します。

議案・資料10ページ、資料8をご覧ください。

この催しは、子ども達が読書に親しむことを目的として、幼児から小学生を対象に、11月3日(土)文化の日の午前10時から、図書館本館の学習室にて、世界各国の物語の読み聞かせ及び工作会を開催しました。

参加者につきましては、対象者20名、保護者16名の計36名の方に参加いただきました。

なお、参加された子ども達のアンケート結果や保護者からの主な感想につきましては、中段に記載のとおりでございます。

これからも、子ども達が読書により一層親しむような企画を考えて、取り組んでいきたいと考えております。

以上で報告を終わります。

○及川教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○及川教育長 よろしいでしょうか。

続きまして、(6)三浦市社会教育講座「料理講座」おもてなし料理の開催について、説明をお願いします。

○見上初声市民センター館長 三浦市社会教育講座「料理講座」おもてなし料理の開催についてご説明します。

議案・資料 11 ページ、資料 9 をご覧ください。

大切なお客様を招くにあたり、自宅でも手軽にできるおもてなし料理を作ります。メニューは、焼き豚、温野菜のさっぱりした味付けのバルサミコ酢和えなどです。

開催日時は、12月22日(土)の10時から13時で、開催場所は、初声市民センターの実習室です。

講師は、三浦市給食調理場の元職員で、調理師の中島睦子さんです。

対象は、市内在住または在勤者で、定員は15人、受講料は1,000円です。

12月号の広報紙「三浦市民」、市のホームページに掲載し、12月7日(金)から先着順で、申込みを受け付けます。

以上で説明を終わります。

○及川教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○及川教育長 講師の中島さんは先日、南下浦学校給食共同調理場に行った時にいらっしゃった方ですか。

○見上初声市民センター館長 はい。

○及川教育長 他によろしいですか。

それでは、次第8「その他」に入りたいと思います。

まずは事務局から何かありますか。

○及川教育長 よろしいですか。続いて教育委員の皆さんから何かございますか。

○下里職務代理 1点お伺いしたいと思うんですが、先立って文部科学省から、中学校、高校のクラブ活動について、土日のどちらか1日を休まなくてはいけない、そして1週間の平日のうち1日は休ませる、そういう事案が出たと思いますが、このことについて教育委員会として、どこのポジションで、どのようにこれを管理していくと言ったらおかしいですが、管轄として点検をしていくポジションは、どの辺りでなさるのかをお伺いしたいと思います。

○高梨学校教育課長 部活動の件に関しましては、文部科学省から出ているものを受け、市でも基本方針を決め、各学校に周知し、学校の方から保護者あてにも案内しているところです。

内容は基本的には国に準拠し、週末2日のうち1日はお休み、毎日の活動は2時間以内というものを保護者に周知しており、実際に活動を始めているところではあります。ただ、例えば大会前とか、そういう部分に関しては、練習時間が多くなってしまおう等の実態があることは、把握はしておるところです。

これを点検ということになりますと、今後検討させていただきたいと思いますが、現時点では各中学校の先生方、保護者の方もそういう形で部活動が変わって、動いているんだなということについては認識できていると思っております。

○**下里職務代理** 今説明をいただきましたけれども、子どもの立場に立ってみますと、一つの例で言いますと、期末試験の前には、一般の生徒と同じように勉強したい、そういう中で、例えば土曜、日曜、1週間休みなしという中で、勉強する機会もない、チャンスもないという中で、そういうものの解消を、公平に、全校生徒同じように扱わなくてはいけないというのが教育の世界だと思っております。

そういった声を聞くと、偏っているんじゃないかなと思っておりますね。ですから、点検という言葉を使わせてもらったんですけども、ただ言ってありますからという形で済んでしまうと、それは違うんじゃないかなと感じたものですから、こうやって質問させていただきました。ぜひ、今すぐどうこうということは言いませんが、きちんと回答できるようにしておいていただきたいなと思っております。

○**高梨学校教育課長** ご指摘ありがとうございます。実態をもう一度確認しまして、対応、検討していきたいと思っております。

○**及川教育長** 確かに実態という部分では、具体的に見ていかないと分からない部分なので、ぜひお願いしたいと思っておりますが、校長たちと話をする中では、学校でこういう風にしますということで、保護者に説明をするというのは当然しているんですけども、市全体がやはり足並みを揃える、学校によってそのばらつきがあるとやりにくいんだというような話も聞いていますので、その辺りの確認も含めて、学校をサポートするような形で、部活動のやり方については、きちんとしたやり方でできるように心がけていければという風に思っていますので、よろしくお願いしたいと思っております。

○**下里職務代理** 今教育長がおっしゃったように、保護者も納得という感じで私は受け取ったんですが、保護者の立場から見たら、学校でこうやるよと言ったら、なかなか反対はできませんよね。ですからその辺りも含めて、やはりルールはルール、きちんと留意していただくということが一番いいんじゃないかなと思うので、お願いします。

○**及川教育長** 校長から、部活動を長くやってほしいとか、そういう声も保護者からあるという話も聞く中では、きちんと決めたことに則って、進められるような形、学校をサポートしながら、保護者についてもきちんと理解していただけるようなサポートをしながら、進めていくことが大切かなと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思っております。

○及川教育長　その他よろしいですか。

他にないようでしたら、以上で、「その他」を終了します。

これもちまして、平成30年第11回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

---

◇ 午後2時26分 閉会 ◇

---